

# 寝屋川流域総合治水対策

## 過去の代表的な水害



近鉄奈良線 八戸の里駅付近

昭和32年6月梅雨前線・台風5号豪雨  
(戦後最大の豪雨)

時間最大62.9mm、総雨量326.1mm、  
床上・床下浸水 111,774戸  
(災害救助法適用、死者6名)



大東市内

昭和47年7月梅雨前線豪雨

時間最大 20.0mm、総雨量 237.5mm、  
床上 6,138戸、床下浸水 37,273戸



大東市内

昭和57年8月台風10号豪雨

時間最大 39.5mm、総雨量 150.5mm、  
床上 6,778戸、床下浸水 43,262戸



東大阪市内

平成7年7月梅雨前線豪雨

床上 14戸、床下浸水 2,026戸

- 過去からの治水対策により河川からのはん濫は減少してきたものの、近年でも頻繁に下水道や水路から水が溢れる浸水被害が発生しています。
- 市街化の進展に伴う保水・遊水機能の低下により、流出量が増えたり流出時間が早まるなど、排水施設の能力を超える雨が降ると浸水が起こります。

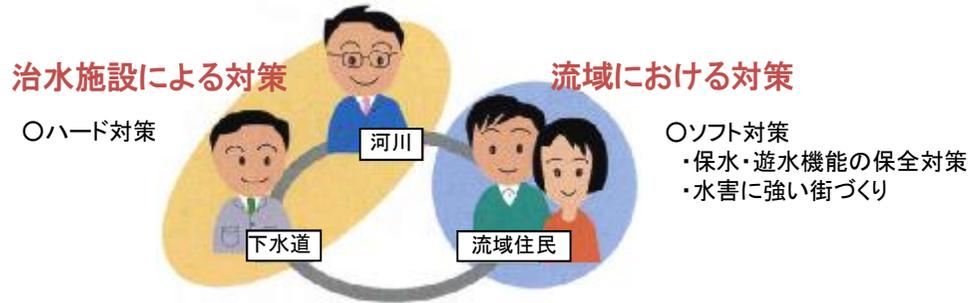
## 近年の水害

年 月 日	気象要因	流域最大降雨量		浸水被害		
		時間最大 (mm)	総雨量 (mm)	床 上 (戸)	床 下 (戸)	計 (戸)
平成16年 5月13日	前 線	41.0	89.0	22	310	332
平成16年10月20日	台 風 2 3 号	42.0	134.0	15	490	505
平成20年 8月 6日	低 気 圧	63.5	73.5	183	2,357	2,540
平成23年 8月27日	局 地 的 豪 雨	76.0	89.0	93	1,499	1,592
平成24年 8月14日	局 地 的 豪 雨	111.0	159.0	2,554	17,080	19,634

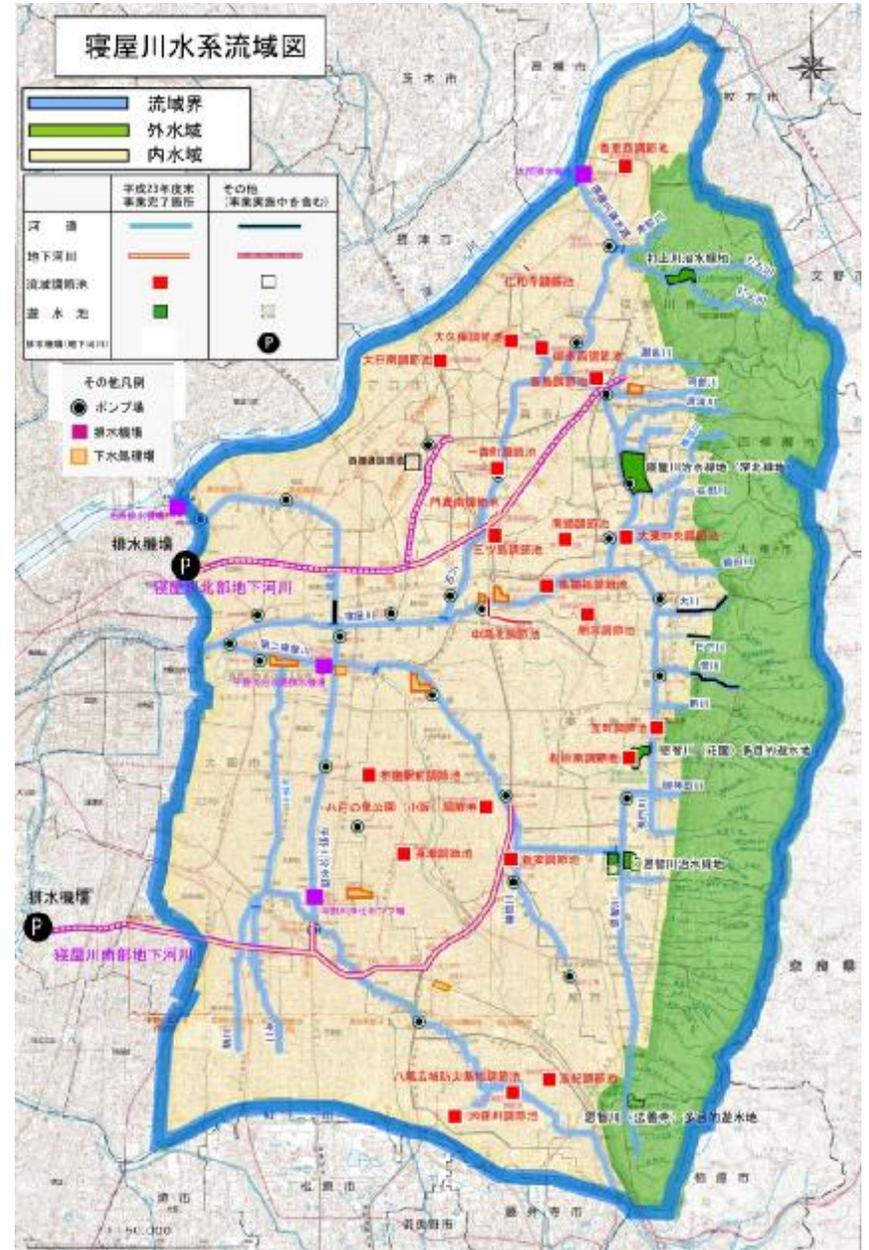
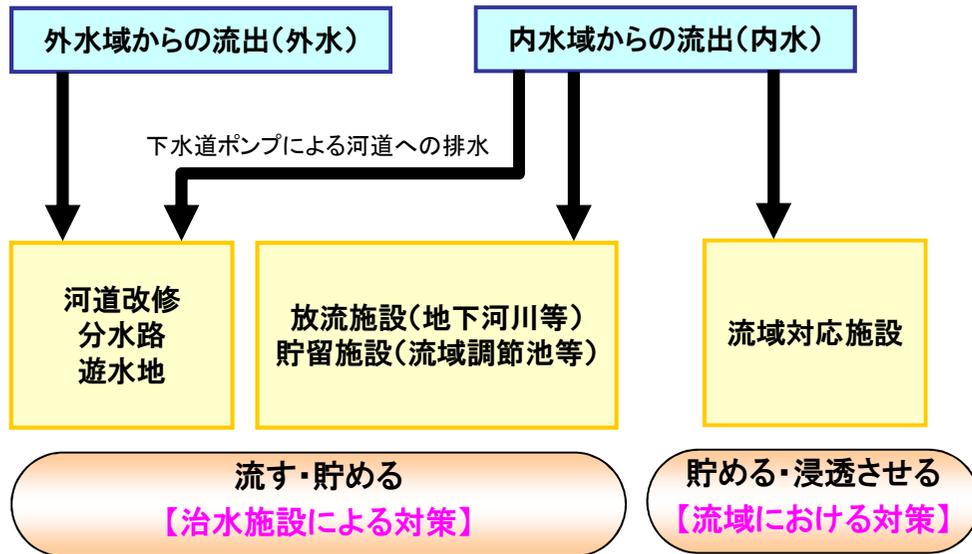
# 寝屋川流域総合治水対策

## 総合治水対策

- 寝屋川流域では、「総合治水対策」を進めています。
- 「総合治水対策」は、河川や下水道が一体となって整備を進めるとともに、流域における保水・遊水機能を人工的に取り戻そうという考え方に基づく治水対策です。



## 寝屋川流域の洪水処理計画(ハード対策)



寝屋川流域の治水対策状況位置図

# 寝屋川流域総合治水対策

## 新たな治水対策

【基本的な理念】 人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1) 現状での河川はん濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」<sup>に</sup> 「凌ぐ」<sup>しの</sup> 施策を強化するとともに、「防ぐ」<sup>ふせ</sup> 施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

## 目標（長期計画=寝屋川流域水害対策計画）

府管理の全河川について、時間雨量 80ミリ※<sup>1</sup>の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。（寝屋川流域では「八尾実績降雨※<sup>2</sup>」を将来目標としています）

## 当面の治水目標

※<sup>1</sup> 時間雨量80ミリの降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

※<sup>2</sup> 昭和32年6月に八尾で観測した戦後最大実績降雨

【今後20～30年の当面の治水目標】

時間雨量50ミリ程度の降雨※<sup>3</sup>で床下浸水を発生させない。

かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度の降雨※<sup>4</sup>で床上浸水を発生させない。

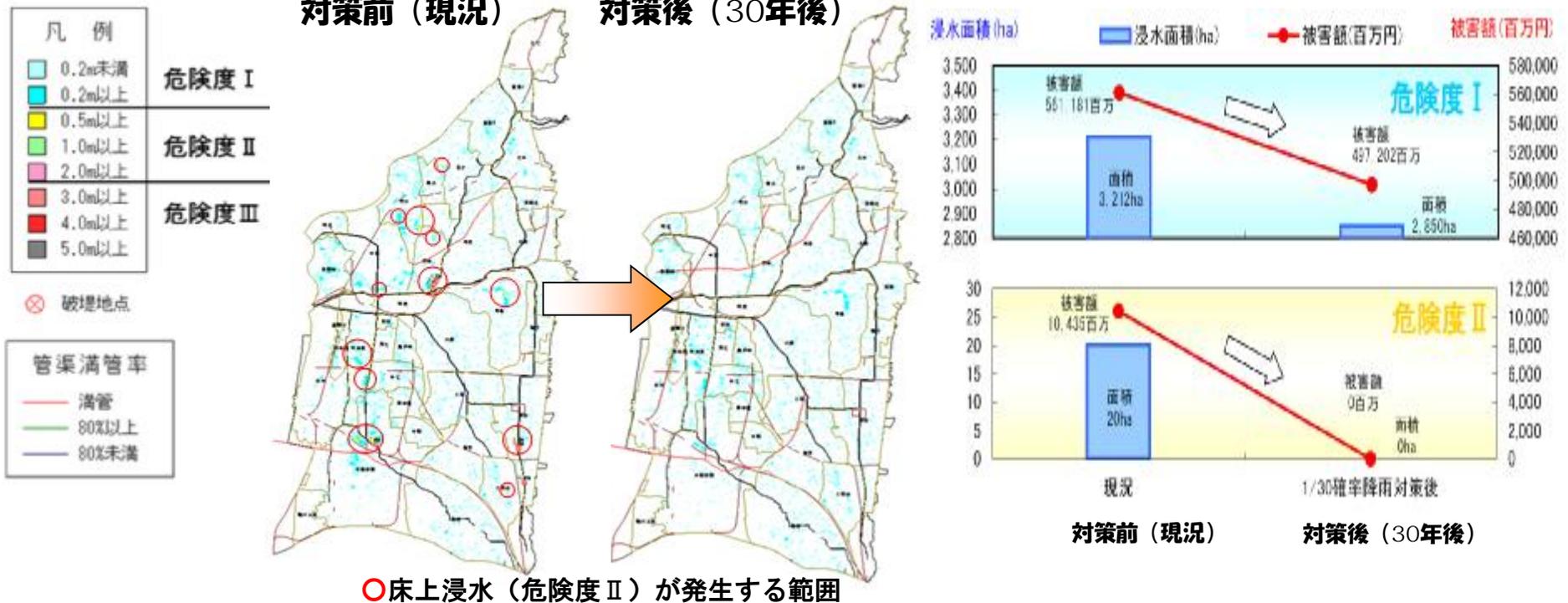
※<sup>3</sup> 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨

※<sup>4</sup> 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

# 寝屋川流域総合治水対策

## 河川整備計画による今後の治水目標

治水対策については、治水施設の整備により、1/10確率降雨(時間雨量50mm程度の降雨)による床下浸水の発生を防ぎ、かつ、1/30確率降雨(時間雨量65mm程度の降雨)による床上浸水の発生を防ぐことを目標とします。



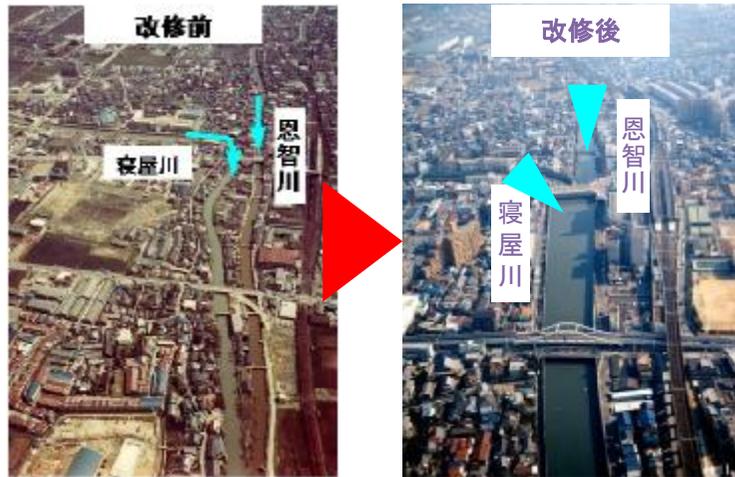
寝屋川流域水害対策計画の対象降雨は八尾実績降雨であるため、計画対象期間を当初の30年間から60年間に変更します

# 寝屋川流域総合治水対策

## 総合治水対策

### 水を「流す」施設

#### 河川改修

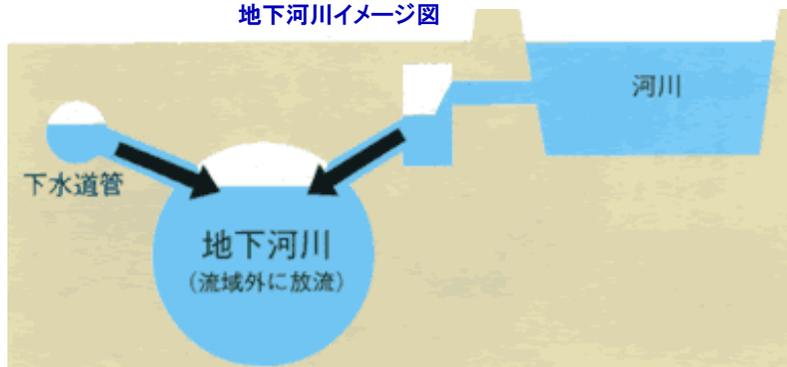


#### 分水路



#### 地下河川

地下河川イメージ図



寝屋川北部地下河川(古川調節池)



寝屋川南部地下河川(今川立坑貯留状況)H23.8

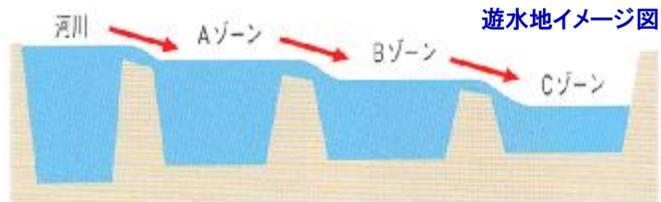


# 寝屋川流域総合治水対策

## 総合治水対策

### 水を「貯める」施設

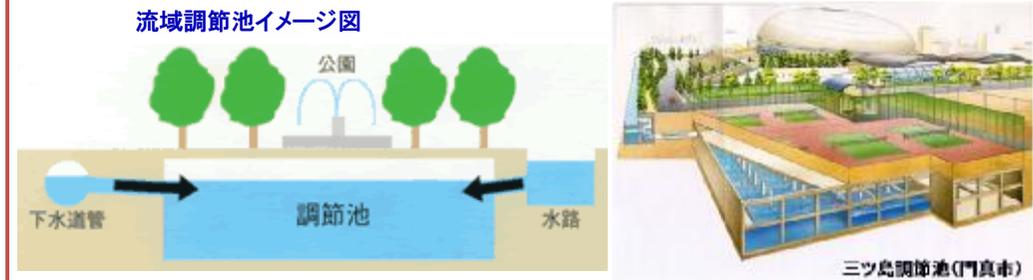
#### 治水緑地・遊水地



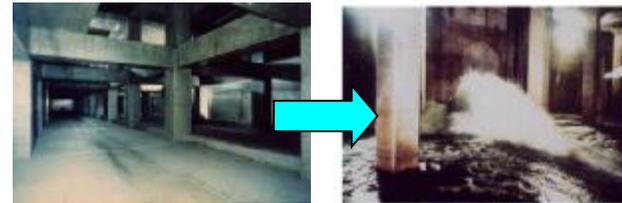
寝屋川治水緑地(貯留状況)H11.8



#### 流域調節池



三ツ島調節池(貯留状況)



#### 流域対応施設

雨水流出抑制施設(棟間貯留)イメージ図



大東市・棟間貯留(貯留イメージ)

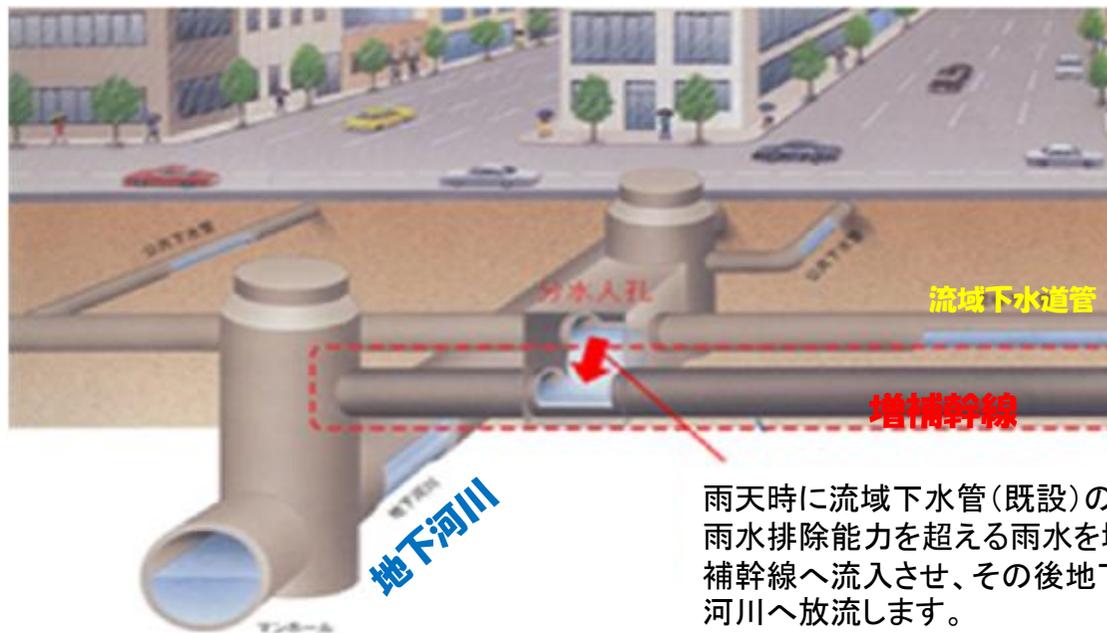


四條畷市立くすのき小学校・校庭貯留(貯留状況)



# 寝屋川流域総合治水対策

## 浸水対策事業（下水道増補幹線の整備）



雨天時に流域下水道管（既設）の雨水排除能力を超える雨水を増補幹線へ流入させ、その後地下河川へ放流します。



# 寝屋川流域総合治水対策

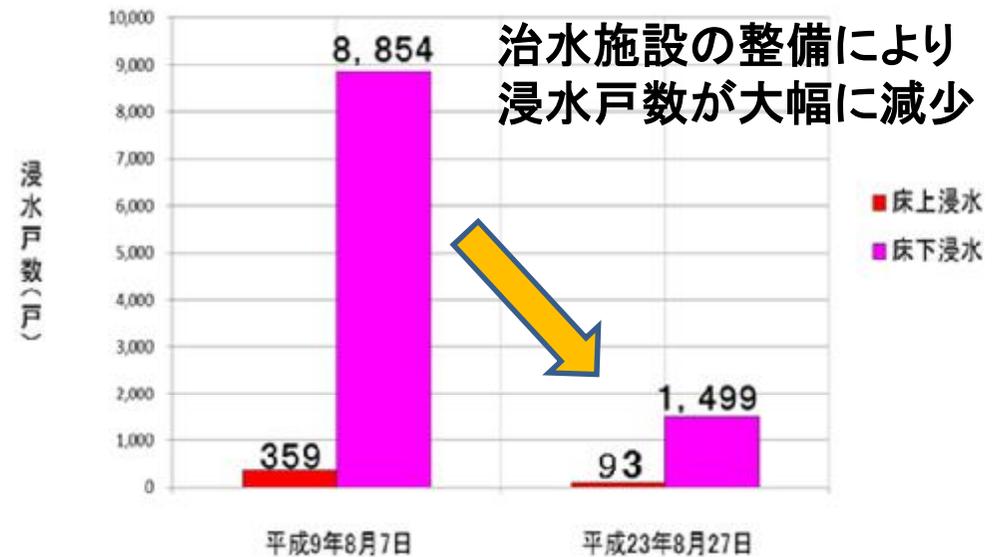
治水施設の効果(平成23年8月27日豪雨)

南部地下河川において  
過去最大の265,000m<sup>3</sup>を貯留

プール1,000杯分



貯留時の状況



・時間最大雨量

- ① 80ミリ(星田:交野市)
- ② 72ミリ(八尾土木事務所:八尾市)
- ③ 64ミリ(中竹洲橋:八尾市)

・総雨量 116ミリ

・時間最大雨量

- ① 76ミリ(大阪府庁:大阪市中央区)
- ② 66ミリ(寝屋川水系改修工営所:大阪市城東区)
- ③ 40ミリ(恩智川治水緑地:八尾市)

・総雨量 89ミリ

# 寝屋川流域総合治水対策

治水施設の効果(平成25年8月25日豪雨)

**最大時間雨量 59ミリ**  
**(大阪市城東区)**

## 【浸水被害】

**床上浸水 15戸**

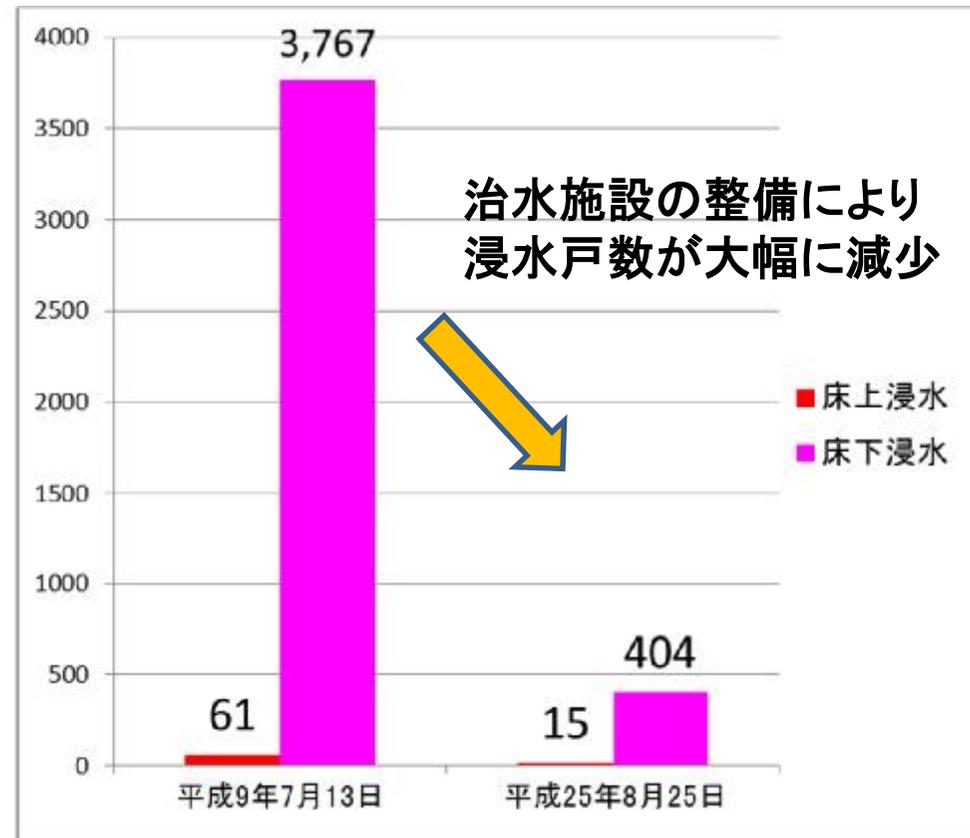
**床下浸水 404戸**

## 【施設の貯留量】

**調節池 258,000m<sup>3</sup>**

**地下河川 322,700m<sup>3</sup>**

**(増補幹線含む)**



①46ミリ(寝屋川治水緑地:大東市) ①59ミリ(寝屋川工営所:大阪市)  
②41ミリ(大阪管区气象台:大阪市) ②49ミリ(恩智川治水緑地:八尾市)  
③34ミリ(星田:交野市) ③43ミリ(寝屋川治水緑地:大東市)  
総雨量 111ミリ 総雨量 119ミリ